

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 10 月 1 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3870104381		
法人名	有限会社 ヨシケン産業		
事業所名	グループホーム いしい		
所在地	愛媛県松山市北井門3丁目14番28号 (電話) 089-956-1213		
管理者	小椋真吾		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 8 月 3 日	評価確定日	平成 19 年 10 月 2 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 7 月 5 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 10 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 11 人, 非常勤 11 人, 常勤換算	15 人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( 0 )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,100 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 19 年 7 月 5 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	4 名	要介護 2	6 名
要介護 3	4 名	要介護 4	3 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 60 歳	最高 90 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街にあり、周りに溶け込んだホームである。法人代表の「地元への還元」との思いで開設されたホームであるため、地元とのつながりを大切に、運営推進会議は公民館で開催している。また、利用者は公民館の健康体操に参加するなど連携は深い。管理者の「相互扶助」の考えが運営に活かされ、入居者会議で利用者が主体となって意見を出せる場を設けている。利用者、職員共々生活の質を高める努力をしている。ホームの特色として昨年より音楽療法を取り入れ、音楽を楽しむことに止まらず、認知症の進行予防に活かしている。

## 【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)  
 前回管理者が交替し、アセスメントシートの見直しを行ったばかりであった。その後の活用を期待していたが、職員も新しいシートの活用やシステムに慣れ、具体的なケアプランの作成ができ、職員間での共通理解がケアサービスの向上に活かされている。

## ▼ 今回の自己評価に対する取組み状況 (関連項目: 外部4)

職員各自で記載、それを持ち寄り職員全員で持ち寄り、協議し、記載した。また、家族、運営推進会議の委員さんにも関連項目を担当してもらうなど、地域も一緒になって行った自己評価となっている。

## ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議の検討事項は、ホームについて、利用者の状況、ホームの行事などの説明、それに関する協力依頼や質疑応答などとなり、参加者は利用者、家族、運営者、民生委員、管理者、職員、地域包括支援センター職員や市職員、その他薬剤師、協力医院の医師、看護師等となっている。家族や他の参加者からの質問に対してホームが回答するが、医療関係の質問は医師から回答が得られ、参加者の理解や安心に繋がっている。

## ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

玄関に苦情・意見箱を設置しているがあまり活用されていない。運営推進会議や家族会などで話し合い対応している。

## ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

運営推進会議でホームについて理解を深め、実際にホームに見学に来る方が増えた。ホームの行事(そうめん流し等)の手伝いをお願いしたり、災害訓練等の協力を依頼している。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームいしい

(ユニット名)

1階ユニット

記入者(管理者)

氏名

小椋 真吾

評価完了日

平成19年6月20日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「素直な心」「初心を忘れない」「思いやりの心」の3つの心を元に、地域との関わりを大事にし、運営を行っている。 (外部評価) 3つの心を職員全員の理念として、日々のケアに取り組んでいる。職員全員で構築した理念は日々のケアの振り返りに活かされ、評価できる。	※	素晴らしい理念で日々のケアに取り組んでいて、地域とのつながりもできているが、地域密着型ホームとしての関わりを盛り込んだ理念を再構築するよう希望する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念をミーティングで唱和したり、新入職員も新入職研修を通じ、各自にホーム理念をケアに生かすための具体的な言葉での構築を行っている。 (外部評価) 職員全員で話し合って構築した理念であるので、日々のケアの基本として、常に振り返りながら実践している。新採用者に対しては新人研修を通じて伝え、日々のミーティングで確認している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族会、運営推進会議、入居者会議や日々の生活の中で、説明をしたり、理解していただけるよう取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 行事などがある時は、ちらしを近隣に配布したり、運営推進会議などを活用し、気軽に参加していただけるよう取り組んでいる。	※	声かけができた方は、立ち寄っていただけるが、チラシ配布のみだと遠慮される方もいるので積極的に声かけを行いたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の方にホーム行事に参加していただいたり、回覧板やごみ拾いなど入居者様と一緒にいたり、町内の行事に積極的に参加し、地域の方との交流を大事にしている。 (外部評価) 公民館の健康体操の参加や中学校の運動会・文化祭などにも出かけている。また、ホームの行事に地域住民の方が参加するなど交流が図れている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 散歩の際などを利用して、ゴミの日にゴミステーションの掃除を行うなどのゴミステーションの管理や地域の認知症高齢者の一時利用や依頼があれば訪問を行う。	※	今後とも、運営推進会議などを通じ、地域貢献できる内容を検討していきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会や委員会、入居者会議などの際に話し合いを行い、施設改善に取り込んでいる。  (外部評価) 職員各自で自己評価し、全員が話し合って記載することにより、改めてケアサービスの振り返りができた。又、運営推進会議の委員や家族にも説明し、担当してもらうことにより、ホームへの理解を深めることに繋がった。	※	今回の自己評価、外部評価を受け、今後の取り組み内容を具体的に話し合いたい。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で報告や意見交換を行い、また広報誌に掲載したり、家族との面会を通じて意見得たりし、サービス向上に活かしている。  (外部評価) 運営推進会議でサービスの実際を報告し、家族や民生委員、協力病院の医師等からの意見やアドバイスをケアサービスの向上につなげている。また、民生委員は報告を聞くだけでなく、ケアサービスの実際を見たいと、ホームの行事も積極的に参加、事業所の理解が深まり、関係が広がっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ホーム行事に参加の呼びかけをし参加していただいたり、松山市の介護保険連絡会に毎回参加し、得た情報を向上のために役立てている。  (外部評価) 市が主催する介護保険連絡会議に参加したり、ホーム行事に参加を依頼するなど、連携に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員勉強会で周知し、フォローアップで資料配布をし自己学習してもらっている。	※	外部の勉強会などを活用し、さらなる地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ場を設けたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員勉強会にて虐待防止の勉強や意見交換をし、日々、決して虐待がないよう注意を払っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書の記載内容などを契約前にご家族やご入居者などに十分説明をし、理解納得をしていただいている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 一カ月に1回入居者会議（お茶会）開き、ご意見を頂いている。また、運営推進会議にはご入居者も参加していただき、改善を計っている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、支払い時など1ヶ月に1回以上ホームに来ていただき、状況報告を行っている。また、変化があればその都度電話連絡を行っている。月1回「いいところの便り」にも生活状況を掲載している。	※	家族の方によっては、忙しいかたもおり、報告や相談がなかなか出来ないこともあるので、面会や電話により、職員が声かけを行なう機会を増やしたりし、電話や面会をしていただける回数を増やしたい。
			(外部評価) 毎月の支払いはホームに来てもらえるようお願いし、状況を報告している。また、変化時はその都度電話で連絡している。金銭管理は利用者によって預かり額は異なるが、金銭出納簿で管理し、支払いは本人にしてもらい、支払いの楽しみを味わう工夫をしている。「ホーム便り」では写真で日頃の表情や生活状況を知らせている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会や運営推進会議の機会を活用し説明や意見交換をしている。	※	家族会へのご家族の参加が増えるよう工夫していきたい。
			(外部評価) ホーム訪問時や家族会運営推進会議などを通じて意見を表出する機会を設けている。運営推進会議で家族から協力医療機関等の質問などがあり、質問に明確に回答することにより、家族との信頼関係が深まっている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的な人事考査時に運営者、管理者との個別の話し合いや、職員会、委員会を利用し意見反映を行っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) その時々状況により、シフト変更や家族の協力によって柔軟な対応ができるよう努めている。	※	入居者様に気をつかわせることなく、できるかぎり要望がかなえられるよう支援したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 話し合いにより異動や離職を最低限にする努力をしている。また、異動の際は、中心となる職員の異動はないようにし、異動後はしっかりした引継ぎを行いダメージ防止に努めている。  (外部評価) 異動は最小限とし、どうしても異動しなければならないときは、中心職員の異動は極力さけている。ホーム独自の介護業務チェック表を作成しており、確実な引継と業務内容の把握をスムーズに進める工夫ができています。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月に1回以上勉強会を行い、外部研修にも参加できるような職員に声をかけ、年2回以上各職員が積極的に参加できるよう促している。  (外部評価) 運営規程に職員研修について明記しており、月1回の内部研修、年2回の外部研修を受講している。外部研修の費用は事業所負担で行っている。運営者・管理者共に職員を育てる意欲が認められる。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 定期的に地域の知的障害者デイなどとの交流を持ち、職員同士も意見交換などを行っている。  (外部評価) 知的障害者のデイサービスと交流している。制度が変わり、今年に入って回数は減少したが、続けて実施している。また、他ホームの行事にボランティア参加したりして、交流を図っている。	※	お互いの職員が、事業所に気軽に立ち寄れるようにしていきたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 忘年会や職員スポーツ交流などの親睦の行事を行い、チームワークを大切にストレスを溜めないよう場の提供を支援している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 人事考査を活用し、努力や実績を認める場を作っている。勤務状況が厳しいものにならないよう職員確保にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前より、体験入居や訪問により情報収集をしっかり行い、事前に職員にその方のことをしてもらったり、情報提供ができるようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に、訪問や来所してもらい現状や状況をよく聴取し、一緒に課題解決のための方法を模索している。	※	知人の方やご家族様から今まで知らなかった入居前の情報を知ること多いので、担当者を中心に面会などを通じて気軽に会話ができる機会を増やしたい。
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 他のサービス事業者と連携を行い、その方に今必要なサービス提供を行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 担当者を中心とし職員とご本人が話し合いの場をたくさん持ち、徐々に馴染めるように心がけている。また、事前訪問や体験の通いや泊まりも実施している。  (外部評価) 利用者が早く馴染めるように担当制をとり、担当職員を中心に馴染みの関係をつくっている。また事前訪問や体験の通い（設立3年未満のため、デイサービスができない）等も実施している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) できることしたいこと等を職員とできるだけ一緒に行い、相互扶助でお互いが助け合いながら良好な関係を築いている。  (外部評価) 利用者それぞれの個性を理解し、本人ができることは一緒にしながら、共に生活をしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 夕涼み会などの行事や外出には、ご家族の方にも一緒に参加していただき、喜怒哀楽を共感していただけるよう、ご本人を支えていける関係作りの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人とご家族が一緒に時間をできるだけ多く持てるよう、電話や面会、外出やイベント時の協力していただき、良好な関係が築けるよう支援している。	※	イベントや外出にできるルカ義理家族の方に参加していただいているが、今以上に参加していただける方を増やして行きたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なじみの方に会うためやなじみの場所に行く支援をしたり、その関係が途切れないよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者間関係を理解し、時には関与しながら良好な関係維持に努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約が終了しても、ご入居者様に会いに行ったり、家族と連絡を取ったりし、つきあいを大切にしている。	※	契約終了しても、その限りの関係でなく、職員一人ひとり時間をとり、お見舞いに行くなどの関わりを継続していきたい。

**Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント**

**1. 一人ひとりの把握**

33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居者会議やカンファレンスにて、担当者を中心に一人ひとりの思いや希望などの意見交換を行っている。		
			(外部評価) 日頃の会話や暮らしの中から、利用者の思いや意向を把握することは勿論、月1回、お茶を楽しみながら、入居者会議を実施し、利用者の思いを把握している。また、職員間で共有化を図るためのカンファレンスも行っている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居者把握シートや、他のアセスメントを活用し、生活歴やなじみの暮らしなどの把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりのその時の状況や所在を意識して業務を行い、また、申し送り、カンファレンス、日報、介護記録、ケアプランの日課計画などで情報の共有を計っている。	※	職員一人ひとりが、入居者様により向き合い会話を楽しむなかから、理解しあっていきたい。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画作成後も、カンファレンスや話し合いを行い、それぞれの意見を取り入れている。	※	それぞれの職員が担当している入居者様以外の方にももっと興味を持ち、カンファレンスなどをより活発なものにしていきたい。
			(外部評価) 担当者を中心にカンファレンスで意見交換し、介護計画を作成している。センター方式も一部活用し、訪問マッサージ、訪問リハビリとも連携をとりながら利用者本位の計画づくりに努めている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 対応できない変化生じた場合は、ご本人、ご家族と相談しながら、そのことをケアプランに組み込みケアに活かしている。		
			(外部評価) 3か月に1回全面的な見直しを行っている。変化があるときには随時赤字で書き加えて、現状を把握したケアが実践できるよう工夫している。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子や気づきなど介護記録に記入し、様子介護計画の見直しに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 通院、買い物、墓参り、懐かしの人との再会など、必要な支援は柔軟に行っている。  (外部評価) 設立後3年未満のため、デイサービスが実施できないが、体験訪問や体験通いなどを実施している。地域のボランティアの活動の場・機会の提供や音楽療法を地域に呼びかけるなど地域住民にホームを理解してもらおう機会にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) イベント時に運営推進会議などで呼びかけをし、民生委員やボランティアさんに来ていただき協力していただいたり、公民館行事に参加したりしている。	※	生活歴や趣味を活かせるよう、今以上に公民館などでの習いごとへの参加などを増やして行きたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じ、主治医に相談したり、音楽療法、訪問リハビリや訪問看護、通院リハビリなど必要なサービス提供を行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 当事業所で対応が難しい地域の介護相談などについて、必要であれば随時相談し協力していただいている。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望による、かかりつけ医や主治医による受診をしていただいている。必要に応じ、往診や電話相談による協力もしていただいている。  (外部評価) かかりつけ医との連携は密で、内科、歯科、心療内科、眼科、薬剤師等と連携し、利用者が適切な医療を受けられる支援ができています。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近くの専門医と連携し、電話でも薬の調整や相談ができる体制を築いている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医や訪問看護、往診時の看護職員と相談しながら支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 在宅医療や訪問リハビリなどを活用できるよう日頃から連携を深め、早期の退院にも備えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) かかりつけ医、ご家族と繰り返し話し合いの場をもち、書面や記録に残し方針を共有している。 (外部評価) ターミナルを受け入れる体制はできているが、今までは最終的には家族の希望等で入院しており、実際に看取りの経験はない。看取りを行う場合夜勤者の不安や負担は大きいと考える。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医と常に相談しながら、医療度が高い方の関わりや対応の方法について、その都度相談し、医療職に訪問していただいたり、通院により職員も研修してもらい、対応できるようにしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) なじみの家具や持ち物を持ち込んでもらったり、ご本人の生活習慣などのアセスメントを行ない、	※	新しい環境に移った際は、職員が積極的に会話をし不安を取り除けるようにする。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員全員が、ホームの個人情報規定を理解しケアにあたっている。 (外部評価) 利用者のプライバシーに配慮した対応についてや記録の取り扱い等について、入職時に契約を交わし署名捺印をもらっている。また、家族にも調査等で記録を開示する場合も了解を得て、捺印をお願いしている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 入居者様の望みや希望を把握したら、話し合いをしながらケアの中で実現できるように努めている。	※	ストレスがないようなケアで支援していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ケアプランに沿って一人ひとりに合った生活を優先し、できる限り満足のいく1日を過ごしていただいている。 (外部評価) ケアプランで利用者それぞれのペースや希望を確認しながら、利用者の望む生活が送れるよう支援している。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人が行きたいと希望される洋服店や理美容は、通い慣れたお店を利用してもらっている。外出時は着替えや化粧の支援をしている。	※	外出時のみでなく、お客様の訪問前もおしゃれの支援を心がける。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 入居者様の好き嫌いを冷蔵庫に貼り、情報を共有し、食べれない場合は、代替食を準備している。また、準備や片付けも積極的に手伝っていただいている。 (外部評価) 入居者会議や日頃の会話の中から、食べたいものを確認し、希望を取り入れている。食事の時は利用者の能力に合わせて、準備や片付けも一緒に行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 要望に沿って買い物時に一緒に買ったり、飲酒などの希望の際は、医師に相談しながら飲用していただいている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 必要な人には、排泄チェック表を記入し、トイレ誘導や羞恥心を大事にした声かけを行っている。パットやオムツを利用している方は、その使用量を減らせるよう努力し、できるだけ布パンツやそれに近い形に変更できるよう職員が意識しケアしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入居者様に声かけをし、身体状況や本人が希望される日時を大事にし、入浴していただいている。 (外部評価) 時間帯も入浴時間も利用者それぞれの希望に合わせた対応となっている。	※	入浴が嫌いな方への工夫を今以上にしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、夜間ともに居室で休まれている場合、室温調整や転倒防止の環境整備、見回りを頻回行うようにしている。	※	日中、リビングで疲れが見える方は、ベッド誘導したり、夜間不眠の方には、レクや体操の参加を促している。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 入居者会議を開き、一人ひとりに何をしたいかなどを開き、その内容をケアで活用している。 <hr/> (外部評価) 趣味や生活歴を活かし、料理の得意な方には料理を、生け花が得意な方には生け花を、などそれぞれの能力に合わせた楽しみの支援をしている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 外出時は、好きな買い物ができるように、一人ひとりの希望に応じて、お金を所持していただき購入などができるよう支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) その日の状況により、可能な限り希望に沿って、戸外への外出支援や散歩、受診などを行っている。また、ご家族にも散歩の協力を依頼している。 <hr/> (外部評価) 公民館の健康体操に参加したり、希望に応じた外出支援ができています。ホーム内の中庭での園芸活動は猛暑のため現在は控えているが、涼しくなれば再開する。また、ホーム行事の中に外食や利用者の希望するところへのドライブも企画している。	※	入居者の散歩の機会を、できるだけ多くの方が参加できるよう調整している。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 週末には家族さんと外出や実家への一時帰宅、自然のある場所への散歩など希望を取り入れ支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙や電話の要望がある時は、好きな時間にできるようにその方に応じ職員が支援している。	※	ご本人が手紙を出したくても体調不良で難しい場合は、職員が代行などを行っている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 職員が入居者様のご家族、知人の方などをしっかり把握し、いつでも来ていただけるよう特に面会時に挨拶や事前の居室の掃除、配茶など配慮している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束、言葉による拘束がないようカンファレンスで対策の話し合いをおこない、ケアプランを活用し実施している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけないケアに取り組んでいる。外へドライブに行ったり、散歩をしたりと気分転換を計っている。  (外部評価) 鍵をかけない生活の大切さを職員が理解しており、日中は鍵をかけていない。常に利用者の所在を確認し(監視にならないよう)利用者の安全配慮に取り組んでいる。	※	日中、入居者様の活動性を向上させるため、できるだけリビングにてその方に応じた趣味や役割活動を提供している。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員同士の実際の視認やホーム内の内線を利用し情報交換を行い、安全に配慮している。無断外出があるご入居者様については常に居場所の把握に努めている。	※	入居者様一人ひとりの生活習慣を全職員が把握できるようにする。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その方に応じて、誤認や使用方法の間違いや使用時のミスがないよう気を配りながら、包丁やその他の危険物品の使用をしてもらっている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書、ヒヤリハットを活用し、事故マニュアルを作成し、職員会や申し送りファイルにて閲覧してもらい事故防止に努めている。また、対策を職員で話し合い、ケアプランに追加するようにしている。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルの読み返しを声かけたり、勉強会や急変の都度、ミーティングなどで実際の状況や対応を知らせ、職員に対応方法を学んでもらっている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 困難ケースを想定した避難訓練を行うなど、職員、入居者、ご家族、地域の方にも声をかけ実際に取り組んでいる。 (外部評価) 避難場所を条件別にホームの広場、隣のアパート、近所の小学校と決めており、近所の方にも役割を依頼し、合同で避難訓練に取り組んでいる。防災訓練は年1回実施している。	※	新しい職員も入職され、マニュアルによる徹底と訓練を再度行う必要がある。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクの高い方やヒヤリハット、事故報告書の提出があった方は、危険性と対応などをご家族やご本人に説明し、記録に残している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) ケアプランの身体状況チェック項目などを参考に毎朝バイタルチェックを行い、その結果や評価を記録に残している。また、協力医療機関や主治医とも密に連絡をとり連携している。	※	いつもと違う行動や変化を見逃さないよう、常時心がける。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎朝、排便状況を申し送りし、薬で対応する前にフルーツや、ヨーグルトやプルーン、せんな茶をその人に応じ工夫し、早期の便秘予防に取り組んでいる。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 朝、昼、夕の口腔ケアと夜間入れ歯の洗浄剤使用や歯科医との連携などにより、その方に応じた口腔ケアの声かけや確認と支援をしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 主食でカロリーを調整したり、食事量のチェックをし、必要に応じ食事内容や水分のチェックをしている。その人に応じて体重管理を行っている。 (外部評価) 職員で委員会を設けて栄養の勉強をしたり、個別記録表に食事や水分摂取量の記載をしている。利用者の希望を優先させることは評価できるが、メニューの偏りが懸念される。	※  ※	入居者様の嗜好把握に努め、バランスの良い食生活を心がける。  利用者の中には糖尿病等の疾患を有する方もいるので、かかりつけ医や看護師等にメニュー表のチェックを依頼し、確認することが望ましい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し、外出、訪問、面会、調理、食事など、手洗い消毒を施行し、空気清浄機も全室に取り付け感染予防に努めている。	※	入居者、職員共に予防接種を行っている。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 1日1回以上調理器具のハイター消毒や毎食後の乾燥機による消毒。職員、入居者ともタオルは個人持ちにし、夕方消毒している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 段差のない出入り口は、ソファなどを配置し広々と工夫し、一時休憩ができたり、車いすでの出入りも可能にしている。	※	毎朝の掃除に夏にはクモが巣を作りやすいので、気をつけ清掃している。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節感を表すため利用者と製作活動を行い、その作品をホールや玄関に展示している。  (外部評価) 共用空間は一般家庭の様な雰囲気違和感を感じられない。テーブルの花は利用者の思いがあり、枯れているが処分もできないものがある。利用者の思いを大切にケアに取り組んでいることがうかがえる。	※	リビングなどは、レイアウトを心がけ、トイレは、使用の都度に汚れをチェックする。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 机やイスの配置により気のあった者同士が過ごせるように配慮している。台所の飯台やリビングのたたみ部屋も利用し一人ひとりの居場所を確保している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室やリビングに、ご本人の使い慣れた家具を持ち込み使用している。  (外部評価) 馴染みの家具や仏壇が持ち込まれていたり、植木や写真など利用者それぞれの趣味や思いを大切に設えとなっている。	※	その方の身体状況に合うよう、使いやすいようにする。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 掃除やシーツ交換の際は必ず換気し、それ以外も1日3回以上意識して換気を行っている。その方に応じ、エアコン拭き出口の向き調整や窓の開閉、温度調整の支援をしている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 本人様ができる範囲のことを声をかけたり、見守りしながら、排泄、入浴、家事などをしていただくようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 落ち着いて話を聞き、その方のわかる力を理解しながら、ケアを行なっている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ホーム庭やベランダに花や野菜を植え、水遣りや草引きも一緒にしていただいている。また、その様子がリビングから見える。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	担当職員の日々のアプローチや入居者会議やお茶会を活用し、思いや願いを把握し、一人ひとりにあったケアや対応を行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日、お茶会の時間を必ずもち、入居者様と職員がリビングにて一緒に時間を共有できるようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者様のほとんどが、一人ひとりの流れやスタイルで暮らしている姿が日常的に見られる。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者様の生活や行動パターンを把握し、生活歴や趣味などを活かし、調理や掃除などの家事、買い物や散歩などの支援を通じ、表情が豊かになったり、笑顔が多くなっているのを職員が感じている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物など職員が同行し、見守りや環境確認をしながら安全面などにも配慮し支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかりつけの医師や定期の往診などを通じ、医療機関、医療職種との連携の中で健康面、医療面のバックアップを図っている。安全面においても、施設内だけでなく戸外の行動に対しても安全に努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	訪室時など、「よかった」「ありがとう」などの声や表情を入居者が頻繁に見せていた。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会や電話を利用し、担当職員や管理者を中心とし密に連絡をとり、世間話を含みながらも不安や課題の聴取にあたっている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族の中には、毎日面会に来られる方もおり、知人を含め、近所の方など、かわるがわる、ホームによっていただいている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② ②) ② ② ② ② 評価) 3 ③ ③ ③ ③ 4 ④ ④ ④ ④	ホーム見学や入居者様との食事会などへも参加をしていただき、理解していただきつつある。
98	職員は、活き活きと働いている	① ① ① ① ① (自己 ② ② ② ② 評価) 3 ③ ③ ③ ③ 4 ④ ④ ④ ④	入居者様がいい表情であるときが多くなるよう心がけている。入居者の心遣い、笑顔が職員の力となっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② ② ② ② 評価) 3 ③ ③ ③ ③ 4 ④ ④ ④ ④	職員は、できるだけ、入居者一人ひとりの要望、考え方などを理解し、担当職員の関わりや入居者会議などで意見を聞き支援につなげている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② ② ② ② 評価) 3 ③ ③ ③ ③ 4 ④ ④ ④ ④	ご家族と密に連絡をとり、意見を聞きながら支援につなげている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 地元出身でもある運営者の社会貢献として開設された施設であり、入居者、職員と地域との支えあいの中で運営されより地域に密着している。
- 「素直な心」「初心を忘れない」「思いやりの心」を理念として掲げ、職員一人ひとりが意識しケアに反映できるよう心がけている。
- 入居者会議や日々の会話からの聴取により、入居者様個々の要望を聞き取り入れ、希望や願いをかなえるようにしている。
- 入居者様の気持ちや思いを共に感じ、日々心休めるように努めている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームいしい

(ユニット名) 2階ユニット

記入者(管理者)  
氏名 小椋 真吾

評価完了日 平成19年 6月 20日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 期間を決め朝のミーティングで唱和したり、スタッフルームなどに掲示している。それぞれが、理念の具体化を勉強会などを通じ行っている。 <hr/> (外部評価) 3つの心を職員全員の理念として、日々のケアに取り組んでいる。職員全員で構築した理念は日々のケアの振り返りに活かされ、評価できる。	※	素晴らしい理念で日々のケアに取り組んでいて、地域とのつながりもできているが、地域密着型ホームとしての関わりを盛り込んだ理念を再構築するよう希望する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 全職員がすぐ述べることができ、またケアや仕事の際に心がけている。 <hr/> (外部評価) 職員全員で話し合っ構築した理念であるので、日々のケアの基本として、常に振り返りながら実践している。新採用者に対しては新人研修を通じて伝え、日々のミーティングで確認している。	※	勤務終了後に、1日の反省として取り組んだケアを振り返り、チェックする。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族会、運営推進会議、入居者会議や日々の生活の中で、理解していただけるよう取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホーム内での行事には気軽に参加していただけるよう取り組んでいる。出退勤時、散歩など笑顔であいさつを心がけている。	※	イベント（夕涼み会やそうめん流しなど）事前準備を今以上に一緒に行うことで、楽しみの共有を増やす。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運営推進会議の開催、地区清掃、小中学校の運動会や盆踊り、公民館行事などの地域行事に参加し交流を深めている。ホーム行事にも来て頂いてる。 <hr/> (外部評価) 公民館の健康体操の参加や中学校の運動会・文化祭などにも出かけている。また、ホームの行事に地域住民の方が参加するなど交流が図れている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 散歩の際などを利用して、ゴミの日にゴミステーションの掃除を行うなどのゴミステーションの管理や地域の認知症高齢者の一時利用や依頼があれば訪問を行う。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会や委員会、入居者会議などの際に話し合いを行い、施設改善に取り込んでいる。 (外部評価) 職員各自で自己評価し、全員が話し合って記載することにより、改めてケアサービスの振り返りができた。又、運営推進会議の委員や家族にも説明し、担当してもらうことにより、ホームへの理解を深めることに繋がった。		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 広報誌に掲載したり、会議の意見交換、家族との面会を通じて得た意見をフィードバックさせるようにしている。 (外部評価) 運営推進会議でサービスの実際を報告し、家族や民生委員、協力病院の医師等からの意見やアドバイスをケアサービスの向上につなげている。また、民生委員は報告を聞くだけでなく、ケアサービスの実際を見たいと、ホームの行事も積極的に参加、事業所の理解が深まり、関係が広がっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ホーム行事に参加の呼びかけをし参加していただいたり、松山市の介護保険連絡会に毎回参加し、得た情報を向上のために役立てている。 (外部評価) 市が主催する介護保険連絡会議に参加したり、ホーム行事に参加を依頼するなど、連携に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員勉強会で周知し、フォローアップで資料配布をし自己学習してもらっている。	※	外部の講習会への参加を促したり、派遣をし資料をもとに伝達講習を行う機会を作る。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員勉強会にて意見交換をし、決して虐待がないようにいる。	※	外部の研修会の参加を促したり、意見交換の場作りを再度行いたい。

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書に記載し、それに基づく説明を行ない、同意と納得をしていただいている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に入居者も参加していただき意見を交換してもらっている。また、入居者会議やアンケートで意見を頂き、改善を図っている。	※	健康栄養委員を中心に各担当者の入居者様より意見、苦情の聞きとりを行い、職員会で意見交換をし改善を図る。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 健康状態など変わったことがあればその都度電話連絡をし、また毎月「心の便り」を発行し報告している。 <hr/> (外部評価) 毎月の支払いはホームに来てもらえるようお願いし、状況を報告している。また、変化時はその都度電話で連絡している。金銭管理は利用者によって預かり額は異なるが、金銭出納簿で管理し、支払いは本人にもらい、支払いの楽しみを味わう工夫をしている。「ホーム便り」では写真で日頃の表情や生活状況を知らせている。	※	面会に来られた際は、どの職員においても健康状態や様子がお知らせできるようにし、参加された行事などの写真を見ていただけるよう声かけをする。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会や運営推進会議の機会を活用し説明や意見交換をしている。 <hr/> (外部評価) ホーム訪問時や家族会運営推進会議などを通じて意見を表出する機会を設けている。運営推進会議で家族から協力医療機関等の質問などがあり、質問に明確に回答することにより、家族との信頼関係が深まっている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会や人事考査、委員会を利用し意見反映を行っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) その時々状況により、シフト変更や家族の協力によって柔軟な対応ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 入居者を第一に考え人員配置をしている。中心となる職員の異動はないようにし、移動した場合は、しっかりした引継ぎを行いダメージ防止に努めている。  (外部評価) 異動は最小限とし、どうしても異動しなければならないときは、中心職員の異動は極力さけている。ホーム独自の介護業務チェック表を作成しており、確実な引継と業務内容の把握をスムーズに進める工夫ができています。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月に1回以上勉強会を行い、外部研修にも年2回以上各職員が積極的に参加できるよう促している。  (外部評価) 運営規程に職員研修について明記しており、月1回の内部研修、年2回の外部研修を受講している。外部研修の費用は事業所負担で行っている。運営者・管理者共に職員を育てる意欲が認められる。	※	外部研修に参加した職員は、学んだことを申し送りや職員会でしっかり発表し、1つからでも、実践に役立っていくことができるようにする。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域の知的障害者デイなどとの交流を持ち、職員同士も意見交換などを行っている。  (外部評価) 知的障害者のデイサービスと交流している。制度が変わり、今年に入って回数は減少したが、続けて実施している。また、他ホームの行事にボランティア参加したりして、交流を図っている。	※	他のグループホームへボランティア活動などで関わらせていただき、当ホームの課題を見つめ見直しを図る。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 親睦の行事や職員会を行い、職員同士意見交換を行っている。	※	ユニットのカンファを利用して、意見交換をしていきたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 人事考査を活用し、努力や実績を認める場を作っている。勤務状況が厳しいものにならないよう職員確保にも努めている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前より、体験入居や訪問により情報収集をしっかり行い、事前に職員にその方のことをしてもらったり、情報提供ができるようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に、訪問や来所してもらい現状や状況をよく聴取し、一緒に課題解決のための方法を模索するようにしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 他のサービス事業者と連携を行い、その方に今必要なサービス提供を行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 通所や体験入居、訪問を実施するなかで、その方と話し合い徐々に馴染めるように心がけている。  (外部評価) 利用者が早く馴染めるように担当制をとり、担当職員を中心に馴染みの関係をつくっている。また事前訪問や体験の通い（設立3年未満のため、デイサービスができない）等も実施している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ご本人、職員ともお互いが助け合いながら生活をする（相互扶助）をもとにケアを行っている。  (外部評価) 利用者それぞれの個性を理解し、本人ができることは一緒にしながら、共に生活をしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の方にも、ご本人にどうあって欲しいかなどの具体的内容を聴取し、ケアに生かすようにしている。	※	面会に来られた際や行事に参加していただいたときに、要望や心情を聞く場を作る。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 電話や面会にて話す機会を多く設け、また一緒に外出なども行っている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) イベントや外出などにも参加していただき、行き来しやすい環境になっている。	※	面会に来られた際にも広報誌や写真を見ていただいたりし、イベントなどに進んで参加していただけるようにする。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が潤滑油になり、相互関係が保てるよう努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後も面会に行ったり、連絡を取りつきあいを大切にしている。		

**Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント**

**1. 一人ひとりの把握**

33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居者会議や担当者による入居者把握シートなどのアセスメントを行ない希望や意向の把握に努めている。		
			(外部評価) 日頃の会話や暮らしの中から、利用者の思いや意向を把握することは勿論、月1回、お茶を楽しみながら、入居者会議を実施し、利用者の思いを把握している。また、職員間で共有化を図るためのカンファレンスも行っている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 担当者を中心とし日々の会話やアセスメントシートを活用し、把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 申し送り、カンファレンス、日報、介護記録、ケアプランの日課計画などで把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 月一回以上カンファレンスをユニットで行い、ケアプラン担当とケアマネが原案を作成後、ご家族、本人と話し合い、介護計画を修正しながら作成している。  (外部評価) 担当者を中心にカンファレンスで意見交換し、介護計画を作成している。センター方式も一部活用し、訪問マッサージ、訪問リハビリとも連携をとりながら利用者本位の計画づくりに努めている。	※	ケアプランを「業務の流れ」に組み込めるよう見直しを図る。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 症状変化や事故やヒヤリハットがあれば、ご家族に連絡したり、話し合いを行い、ケアプランに追加や修正を加えている。  (外部評価) 3か月に1回全面的な見直しを行っている。変化があるときには随時赤字で書き加えて、現状を把握したケアが実践できるよう工夫している。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の気づき、様子を個別記録に残し、介護計画に反映させている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 通院、買い物、墓参り、懐かしの人との再会など、必要な支援は柔軟に行っている。  (外部評価) 設立後3年未満のため、デイサービスが実施できないが、体験訪問や体験通いなどを実施している。地域のボランティアの活動の場・機会の提供や音楽療法を地域に呼びかけるなど地域住民にホームを理解してもらおう機会にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 公民館行事を利用したり、必要に応じてボランティアさんに協力依頼をしたり、地域の踊りや演芸グループとも連携をとっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じ、音楽療法、訪問リハビリや訪問看護、通院リハビリなど必要なサービス提供を行っている。	※	音楽療法を取り入れ、意欲的に体を動かしていただくことを継続する。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 当事業所で対応が難しい地域の介護相談などについて、必要であれば随時相談し協力していただいている。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望による、かかりつけ医や主治医による受診をしていただいている。必要に応じ、往診や電話相談による協力もしていただいている。  (外部評価) かかりつけ医との連携は密で、内科、歯科、心療内科、眼科、薬剤師等と連携し、利用者が適切な医療を受けられる支援ができています。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近くの専門医と連携し、電話でも薬の調整や相談ができる体制を築いている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医や訪問看護、往診時の看護職員と相談しながら支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 在宅医療や訪問リハビリなどを活用できるよう日頃から連携を深め、早期の退院にも備えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) かかりつけ医、ご家族と繰り返し話し合いの場をもち、書面や記録に残し方針を共有している。 (外部評価) ターミナルを受け入れる体制はできているが、今までは最終的には家族の希望等で入院しており、実際に看取りの経験はない。看取りを行う場合夜勤者の不安や負担は大きいと考える。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医と常に相談しながら、医療度が高い方の関わりや対応の方法について、その都度相談し、医療職に訪問していただいたり、通院により職員も研修してもらい、対応できるようにしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) なじみの家具や持ち物を持ち込んでもらったり、ご本人の生活習慣などのアセスメントを行ない、		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員全員が、ホームの個人情報規定を理解しケアにあたっている。 (外部評価) 利用者のプライバシーに配慮した対応についてや記録の取り扱い等について、入職時に契約を交わし署名捺印をもらっている。また、家族にも調査等で記録を開示する場合も了解を得て、捺印をお願いしている。	※	職員同士の意識を持ち、言葉かけ対応などに気をつける。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日々のケアにおいてご本人が、気持ちの表出や話しやすい環境や関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その方のペースに合わせて、過ごしてもらえよう心がけている。  (外部評価) ケアプランで利用者それぞれのペースや希望を確認しながら、利用者の望む生活が送れるよう支援している。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出の際は、お化粧品やよそ行きの服、アクセサリや整髪の支援をしている。理美容は、通い慣れたお店を利用してもらっている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を作る際に食べたいものを取り入れるように心がけている。食事作りや片付けは、一緒に行っている。  (外部評価) 入居者会議や日頃の会話の中から、食べたいものを確認し、希望を取り入れている。食事の時は利用者の能力に合わせて、準備や片づけも一緒に行っている。	※	季節の食材を取り入れ献立を工夫していきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 希望に応じ医師に連絡し、お酒を飲まれたり、入居者がなじみの手作りのおやつを一緒に作っている。	※	外食前に医師に連絡をとり、お酒を飲まれる楽しみを支援している。
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 必要な人には、排泄チェック表を記入し、トイレ誘導や羞恥心を大事にした声かけを行っている。できるだけ布パンツやそれに近い形に変更できるよう職員が意識しケアしている。	※	排尿パターンを把握して、紙パンツより布パンツで生活していただけるようケアを心がけている。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入居者の希望で早朝入浴をしたり、時間、回数の調整をしている。入浴剤や季節の花を浮かべたりとリラックスができる工夫をしている。  (外部評価) 時間帯も入浴時間も利用者それぞれの希望に合わせた対応となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、風船バレーなどのレクや散歩や音楽療法、その人に合わせた役割活動を行ってもらい、生活リズムを整えている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 趣味や生活歴を生かし、料理、園芸、音楽など、楽しみを持って過ごしてもらっている。 <hr/> (外部評価) 趣味や生活歴を活かし、料理の得意な方には料理を、生け花が得意な方には生け花を、などそれぞれの能力に合わせた楽しみの支援をしている。	※	入居者会議での要望を実現できるよう取り組んでいきたい。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) その人に応じた自己管理がされ、必要に応じ金銭出納帳などをご本人に記入してもらうなど工夫している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気のいい日は、散歩など戸外での活動を声かけしている。また、園芸活動や散歩など、希望をケアプランに反映され、実施できるようにしている。また、回転寿司などのその方の希望する外出も行事計画に組み込んでいる。 <hr/> (外部評価) 公民館の健康体操に参加したり、希望に応じた外出支援ができています。ホーム内の中庭での園芸活動は猛暑のため現在は控えているが、涼しくなれば再開する。また、ホーム行事の中に外食や利用者の希望するところへのドライブも企画している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 入居者会議を行い、次の月に行きたい場所などを聴取し、ご家族と双海ドライブや村芝居などへと外出の機会作りをしている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 絵手紙を書いてもらい家族の方に送られたり、直接電話で話をしてもらい、面会に来てもらえるよう支援している。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 夕涼み会やそうめん流しなどの行事の際には、一緒に参加していただけるように面会時や、手紙、電話でお誘いしている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束、言葉による拘束を理解したうえで、職員同士行わないよう心がけている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけずに自由にホーム庭を散歩できる環境づくりをしている。  (外部評価) 鍵をかけない生活の大切さを職員が理解しており、日中は鍵をかけていない。常に利用者の所在を確認し(監視にならないよう)利用者の安全配慮に取り組んでいる。	※	自由に出入りできる環境づくりをすると共に所在確認を徹底し安全に努める。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員同士声かけをしたり、1階ユニットにも協力をしてもらい、所在確認や危険意識をもって働くように心がけている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 包丁など危険性があるときのみ保管場所を決めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故マニュアルを理解し、事故報告書やヒヤリハットを活用し、発生時の報告、今後の対策を職員で話し合い、ケアプランに追加するようにしている。	※	職員会の場で、報告、対策を話し合う機会を設けている。
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルの読み返しを声かけたり、月1回の勉強会の中に応急手当や急変時の対応をテーマにあげ行っている。また、その都度ミーティングで事例を報告し、職員に対応方法を周知している。		

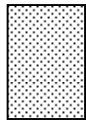


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 困難ケースを想定した避難訓練を行うなど、職員、入居者、ご家族、地域の方にも声をかけ実際に取り組んでいる。 (外部評価) 避難場所を条件別にホームの広場、隣のアパート、近所の小学校と決めており、近所の方にも役割を依頼し、合同で避難訓練に取り組んでいる。防災訓練は年1回実施している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクの高い方やヒヤリハット、事故報告書の提出があった方は、危険性と対応などをご家族やご本人に説明し、記録に残している。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 変化や気づきを記録に残し、日勤者から夜勤者へ申し送りをし、かかりつけ医にも連絡している。	※	細かい気付きも明確に残し申し送りをしていきたい。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全職員が、薬に関わるよう心がけている。また訪問や電話相談により薬剤師に協力もしてもらっている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 散歩や体操により体を動かしてもらったり、ヨーグルトやプルーンやバナナ、せんな茶を活用し便秘予防をしている。	※	何を行い効果があつたかなど記録に残し活用していきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 歯科医に助言してもらったり、その方に応じた口腔ケアの声かけや確認により支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 主食でカロリーを調整したり、食事量のチェックをし、必要に応じ食事内容や水分のチェックをしている。また、体重管理により、散歩を進めたりしている。 (外部評価) 職員で委員会を設けて栄養の勉強をしたり、個別記録表に食事や水分摂取量の記載をしている。利用者の希望を優先させることは評価できるが、メニューの偏りが懸念される。	※	利用者の中には糖尿病等の疾患を有する方もいるので、かかりつけ医や看護師等にメニュー表のチェックを依頼し、確認することが望ましい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成し、重要な項目は、ご家族や入居者にも声をかけ実施してもらっている。また、面会時には、手洗い、消毒などを必ず声をかけるようにしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 1日1回以上調理器具のハイター消毒や毎食後の乾燥機による消毒。職員、入居者ともタオルは個人持ちにし、夕方消毒している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関や庭先にベンチやソファを置き、くろろげるようにしている。また、庭先には季節の花や野菜を植えている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングなどには、つねに装飾があり、入居者様が作成したカレンダーや壁絵などが掲示してある。テーブルにはいつも花がある。 (外部評価) 共用空間は一般家庭の様な雰囲気で違和感を感じられない。テーブルの花は利用者の思いがあり、枯れているが処分もできないものがある。利用者の思いを大切にケアに取り組んでいることがうかがえる。	※	植物やお花を飾ったり、七夕の願いを各居室に飾っている。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ユニット間は、いつもオープンで行ったり来たり の自由な空間にしている。また、家で使っていたお気に入りのソファなどもリビングに置いてある。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) なじみのものやお気に入りのものを持ち込み、個々人により部屋の雰囲気が違い、それぞれの居室空間を保っている。 (外部評価) 馴染みの家具や仏壇が持ち込まれていたり、植木や写真など利用者それぞれの趣味や思いを大切に設えとなっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 1日3回以上意識して換気を行い、気になる臭いや空気のこもりがないよう心がけている。冷暖房の温度調整は、その都度職員が部屋を確認し支援している。全室に空気清浄機を完備。	※	リラックス効果も考え、入居者様の好む消臭剤と一緒に選び、対応して行きたい。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 掃除が安全に行えるようコードレス掃除機を入居者用に導入している。また、入浴はその人に応じた補助具を設置している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 職員が関与し、ご夫婦のわかる力を活用して精神状態安定を計っている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダで洗濯物や布団干しを職員と一緒にしたり、庭にて草引き、水遣り、園芸などを楽しませられている。	※	庭をガーデニングしたり、くつろげる空間作りをしていきたい。

(注)



- 1 部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常の会話や入居者会議を行い、入居者様の思いや願いを聞き、一人ひとりに対し適切に対応できていることが表情から汲み取れる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつのとき一緒に食べたり、レクリエーションを一緒に行い、一人ひとりにかかわりコミュニケーションを図っている。意識的に関わる時間を設けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者様のペースで居心地の良い共用空間作りをしている。(家で使っていたソファなどをリビングにおいている。)
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者様の興味のあることや歌やレクリエーションにスムーズに参加していただいたりでき、職員も笑顔で接するよう心がけている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物へ行きたいという希望があれば出来る限り努めている。また、入居者様の行きたいところを十分把握できている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康チェック表などに記入し、状態に応じて専門医と連携し、電話でも薬の調整や相談ができる体制を築いている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者会議を行うなどし、要望を取り入れてケアを行えるよう心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会やイベントに参加された際にお話を聴いたり、家族会などを開き意見交換の場を作っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族や知人の方の面会の他、イベントや行事を開催し際に、運営推進会議で呼びかけの協力をお願いしたり、チラシを配布するなどし、気軽に足を運んでいただけるよう呼びかけている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②) 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	入居者様も参加していただき、地域の方とのつながりが増え、意見交換の場が増えた。
98	職員は、活き活きと働けている	(自己 ①) 1 ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	理念を頭に置き、ケアや仕事の際に心がけ向上心を持ちそれぞれの職員が働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ②) 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者会議や担当者を窓口とし、要望や苦情を聞き、不満な部分はサービスに役立てるように努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ②) 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	電話や面会時、家族会を利用して、意見交換の場を持ち、ご家族の要望や意見を取り入れるよう努めている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- 地元出身でもある運営者の社会貢献として開設された施設であり、入居者、職員と地域との支えあいの中で運営されより地域に密着している。
- 「素直な心」「初心を忘れない」「思いやりの心」を理念として掲げ、職員一人ひとりが意識しケアに反映できるよう心がけている。
- 入居者様の質の高い生活をイメージしながらケアを行っています。
- ここにおいて、ここに来て良かったと心から入居者様が思っただけできるよう心がけています。